



九州支社

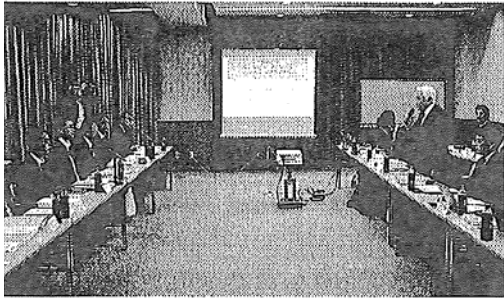
〒812-0011
福岡市博多区博多駅前
3-9-1 大賀博多駅前ビル
電話 092-471-6118
FAX 092-471-6119

kyushu
@kensetsunews.com

と協同
意見交換
福岡市建設

要領の適正運用を確認 業務成績評定の対象拡大

建設コンサルタント協会九州支部（田中清支部長）は9日、福岡市との意見交換会を同市内で開いた。市に対する個別要望は▽業務成績評定対象業務の拡大▽表彰制度の拡大▽電子入札の拡大と電子契約の導入の3項目。業務成績評定については、要領に基づき着実に運用することを確認した。同支部から田中支部長ら幹部、市からは黒田寛財政局技術監理部長らが出席した。



これまで業務成績評定を実施してこなかった基本計画策定業務などの検討業務や歩掛かりがない業務について、市は「対象業務にも関わらず成績評定を実施しなかった事例が多数あった」と報告。設計等委託業務評定要領の2013年改訂時には対象に含まれていたが、「本来対象外である共通仕様書によらない検討業務に加えて、共通仕様書に基づく検討業務も対象外にする」といった間違いが発生する

ことを挙げ、成績評定を実施する検討業務などが増えるので、分母が増えれば必然的に表彰件数も増える可能性があるとの見通しを示した。

納期の平準化では、市の22年度発注の第4四半期に占める納期の割合が48%、このうち3月納期が26%となった。市は、23年度目標として第4四半期納期を40%、3月納期を20%に設定するなど適正な工期設定、納期の平準化に取り組むとした。

設計条件明示チェックシートの活用では、協会の会員企業が23年度に受注した予備設計業務3件で条件明示チェックシートを自主的に作成して市に提出することを約束し、それを基に活用を検討することを求めた。

るなど運用面での問題を認め、こうした事態を受け、11月頭に全庁的に通知を出しており、今後は適正に運用することを約束した。

表彰の対象が全て下水道設計になっているとし、優秀な技術者の育成や技術向上のために一般土木を含めた幅広い業種を対象にするよう求めた。市は、下水道設計の表彰が多い理由に「下水道事業の規模が大きく、難易度も高い」